学校番号	301

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『改訂版　言語文化』（数研出版）						
副教材等	『イラストとシーンでおぼえる Look＠古文単語 337　改訂版』（啓隆社） 『読解をたいせつにする体系古典文法　十訂版』（数研出版） 『古文の基礎をつくる　はじめの古文』（数研出版） 『体系漢文　三訂版』（数研出版） 『体系漢文準拠ノート　改訂版』（数研出版） 『改訂版　プレミアムカラー国語便覧』（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を読んで、「読解力」や「感性」を養うとともに、自分の考えを言語で的確に表現する力を育成します。
・古典では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・古典では予習として、本文を音読したうえでノートに写し、意味のわからない語句を古語辞典で調べておきましょう。文法的な意味と活用形、および接続も確認しながら授業を進めます。
・予習→授業→復習のサイクルをつかんでください。問題集などの提出期限は守り、定期考査は学習計画を立てて臨むようにしてください。
・繰り返し、学習に臨むことが大切です。文法書などを活用し、自学自習を大切にしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・古文単語・古典文法・漢文句形などの基礎知識の定着をはかる。
【思考力、判断力、表現力等】
・国語を的確に理解・伝達するための基本的な語彙力・論理的思考力・表現力を養う。
・様々な文章の読解を通して、文章の構成や主題、登場人物の心情を理解する力や感性を育む。
・発表やプレゼン、討論の機会を通じて、自らの意見を正しく伝え合う力や相互理解の精神を養う。
・対象や目的や意図を的確に把握し、適切な表現で自分の意見・感想を記述できる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・様々な文章の読解を通じて人間・社会・言語・文化等への関心意欲を高め、広い視野を持たせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文:説話、随筆 ［教材］ 児のそら寝(宇治拾遺物語) ある人、弓射ることを習ふに(徒然草)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:積極的に登場人物の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題
	古文:歌物語 漢文:入門、故事 ［教材］ 芥川(伊勢物語) 狐借虎威、朝三暮四	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	パフォーマンス課題
	近現代文:詩歌 ［教材］ 短歌・俳句	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができている。 c:我が国の言語文化に特徴的な語句が持つ文化的背景を積極的に調べ、学習課題に沿って発表しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題
二学期	古文:随筆 漢文:史伝	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のき	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題

	［教材］ ありがたきもの(枕草子) 管鮑之交	まり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。			
	古文:和歌、日記文学 ［教材］ 万葉集、古今和歌集、新古今和歌集 門出(土佐日記)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:和歌を粘り強く読み解いたり、旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べたりして、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	パフォーマンス課題
	漢文:漢詩 ［教材］ 静夜思、送元二使安西、登高	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題
	漢文:文章 ［教材］ 羆説	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:鹿・貙・虎・羆と人との強弱の関係を整理する学習課題において、粘り強く考察に取り組んでいる。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題
三学期	古文:軍記物語 ［教材］ 木曽の最期(平家物語)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題
	漢文:思想 ［教材］ 論語	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:学習課題に沿って、孔子の生き方について粘り強くまとめ、年齢の異称について積極的に調べている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	課題

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　６５　）時間